

教科名	国語
科目名	現代の国語
グレード	
単位数	2単位
対象学年	高校1年

科目の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・知識、技能（社会生活に向けての基礎学力として、漢字・語彙・教科書レベルの文章の読解） ・思考力、判断力、表現力（共通テストに向けて、複数の異なる文章・資料の理解）以上2点の力を養う。
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的な漢字・語彙を身に付ける。 ②共通テストに対応できる力を身に付ける。 ③自分の考えを論じることができる。また、批判的思考をすることができる。 ④希望進路につながる読書活動をすることができる。
使用教科書	三省堂「精選 現代の国語」
使用副教材	いづな書店「入試頻出漢字＋現代文重要語彙TOP2500」、啓隆社「速読多読」、国語辞典
評価の方法	①年4回の定期考査の成績②毎週実施する漢字テストの成績③出席状況や学習態度などを総合的に見て評価する。
学習の方法	【導入】①本文を黙読および音読し、形式段落と意味段落に分ける。また、読み方が分からなかった漢字や意味がわからなかった語句を拾い出し、辞書で調べる。②本文を読解するうえで重要だと思われる表現やキーワードを抽出する。【読解】グループによる話し合いや発表等の活動を通じて、本文の主題に迫るための丁寧な読解をしていく。【発展】小論文作成やディベートや確認テスト等によって、本文の内容や主題を理解するだけでなく、より広い視野をもって考える。※随時、「速読多読」を使用し、新テスト対策を行う。
生徒への一言	「現代文は勉強しなくても平気である」「現代文は取り組んでも意味がない」という考えは捨てて、とにかく自ら取り組み、考えてほしい。受験の先にある社会生活のために、今できる「基礎固め」をしっかりと行おう。「国語力」はこれからの人生に大きく関わってくるものであることを肝に銘じてほしい。

月	授 業 予 定
4月	教科書「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」「この一冊を伝え合おう（読書会）」
5月	教科書「水の東西」
	5月下旬 前期中間考査
6月	教科書「日本のお祭りはどういうものですか？」「身近な日本文化を紹介しよう（プレゼン）」
7月	教科書「ネットが崩す公私の境」
8・9月	教科書「ネットが崩す公私の境」「情報社会について考える（グラフ読み取り）」
	9月下旬 前期期末考査
10月	教科書「生物と無生物のあいだ」
11月	教科書「生物と無生物のあいだ」小論文・教科書「ありのままの世界は見えない」
	11月下旬 後期中間考査
12月	教科書「グローバリゼーションの光と影」
1月	教科書「グローバリゼーションの光と影」
2月	教科書「辞書は生きている」
	2月下旬 後期期末考査
3月	教科書「辞書は生きている」